

講義番号 250M1102 科目名 医学入門
 単 位 2（必修専門科目） 開講期 1年次2学期 月曜日3限・4限 他 定員 140
 担当教員 岡崎史子（科目責任者）、福井直樹、Olga Razvina、青木亜美（以上医学教育センター）、新潟大学医学部教員、新潟大学医歯学総合病院職員、学外の専門家の方々。
 科目英文名 Fundamentals of Medicine
 聴講指定等 医学部（医学科）

＜科目の概要＞

医学科1年生後期より、本科目は、臨床医学に関する実務経験を有する学内外の教員等が、その実務経験を十分に授業に活かした実践的教育を行う。

「コミュニケーション」「医学の専門的な知識」「倫理観と人間性」「診療の実際」「保健・医療・福祉への貢献」「地域医療と国際性」「リサーチマインド」「自己研鑽・生涯学習」のいずれにおいても基盤となる知識を得て、1年生として適切なスキル、態度を示すことができる（基盤レベル）を目的としている。

＜科目のねらい＞

入学早期の1年生後期より、基礎医学、臨床医学、社会医学などに関する授業を通じて、一部の授業では演習を行い、医師になるとはどういうことなのかを深く考え、そのために必要な知識、技能、態度の基盤レベルの獲得を目的とする。

2年生以降、本格的に医学を学ぶにあたり今後の6年間、研修医までをイメージして学修できることをねらいとしている。

＜授業実施形態＞

対面授業（新潟大学旭町キャンパス・新潟医療人育成センター4Fホール）。一部オンライン、オンデマンド授業がある。

毎回出席を原則とし、やむを得ず遅刻、欠席する場合は事前に欠席事由を科目責任者に届け出ること。

＜学習の達成目標＞

1. 同僚と良好な関係を形成し、正確な情報の収集・伝達ができる
2. 医学の基礎知識を理解することができる
3. 医学におけるプロフェッショナリズムを理解し、礼節ある態度を示すことができる
4. チーム医療の重要性を理解することができる
5. 保健・地域・福祉に関する基礎知識を学び、理解することができる
6. 英語を用いて同僚と基本的なコミュニケーションをとることができる
7. 基礎研究・臨床研究に興味を持ち、生涯にわたり自ら学び態度、自己研鑽を続けることができる

＜授業計画＞(月曜日)

日程	限	講義名	講師	内容
2025年 10月6日(月)	3	医学生のための自己主導型学習1	渡邊洋子（新潟青陵大学短期大学部）	医学生のための自己主導型学習
2025年 10月6日(月)	4	医学生のための自己主導型学習2	渡邊洋子（新潟青陵大学短期大学部）	医学生のための自己主導型学習
2025年 10月16日(木)	3	医療人類学的視点を学ぶ	倉田誠（東京医大医学倫理学）	医師として患者理解に必要な医療人類学を学ぶ
2025年 10月16日(木)	4	医療人類学的視点を学ぶ	倉田誠（東京医大医学倫理学）	医師として患者理解に必要な医療人類学を学ぶ
2025年 10月20日(月)	3	地域医療とは	井口清太郎（新潟大学総合地域医療学）	地域医療の概要を学ぶ
2025年 10月20日(月)	4	海外で医療を実践する	大村和弘（東京慈恵会医科大学）	海外で医師としてどう活躍するのかロールモデルを学ぶ

2025 年 10 月 27 日(月)	3	医学科 3 年生に よる授業	研究室配属 3 年生/岡崎史子	これからの学生生活に有用な 学習課題について学ぶ
2025 年 10 月 27 日(月)	4	医師のキャリア	山根禎一（東京慈恵会医科大 学）	基礎、臨床、留学など様々な 医師のキャリアの選択につい て考える
2025 年 11 月 7 日(金)	3	生命倫理学	宮坂道夫（新潟大学医学部保 健学科）	どこから生命なのか（脳死、 中絶から考える）
2025 年 11 月 7 日(金)	4	生命倫理学	宮坂道夫（新潟大学医学部保 健学科）	どこから生命なのか（脳死、 中絶から考える）
2025 年 11 月 10 日(月)	3	社会における医 療の役割	オンデマンド動画配信	医療経済
2025 年 11 月 10 日(月)	4	社会における医 療の役割	オンデマンド動画配信	哲学と医療
2025 年 11 月 17 日(月)	3	全人的医療とは	三好智子（京都大学医学研究 科医学教育・国際化推進セン ター）	全人的医療に必要なスキル、 態度を学ぶ
2025 年 11 月 17 日(月)	4	全人的医療とは	三好智子（京都大学医学研究 科医学教育・国際化推進セン ター）	全人的医療に必要なスキル、 態度を学ぶ
2025 年 12 月 1 日(月)	3	医学英語のエッ センス	Olga Razvina（医学教育セン ター）	医学英語の基礎を学ぶ
2025 年 12 月 1 日(月)	4	医学英語のエッ センス	Olga Razvina（医学教育セン ター）	医学英語の基礎を学ぶ
2025 年 12 月 8 日(月)	3	医療情報を得る	芝田晋介（新潟大学顕微解剖 学）	EBM の実践（世界中の最新文 献の検索法と適切な引用法を 学ぶ）
2025 年 12 月 8 日(月)	4	総合診療とは	上村顕也（新潟大学総合診療 学）	総合診療学とは
2025 年 12 月 15 日(月)	3	ジェンダーと医 療	吉田絵理子（川崎協同病院総 合診療科）※オンライン	ジェンダーと医療
2025 年 12 月 15 日(月)	4	コミュニケーション 1	岡崎史子・福井直樹（医学教 育センター） ※オンライン	患者さんに病気を説明する （ロールプレイ）
2025 年 12 月 22 日(月)	3	コミュニケーション 2	岡崎史子・福井直樹（医学教 育センター）	患者さんに病気を説明する （実習）
2025 年 12 月 22 日(月)	4	コミュニケーション 3	岡崎史子・福井直樹（医学教 育センター）	患者さんに病気を説明する （実習）
2026 年 1 月 14 日(水)	3	看護学の立場か ら	有森直子（新潟大学医学部保 健学科看護学専攻）	共有意思決定支援とは何か
2026 年 1 月 14 日(水)	4	医師のプロフェ ッショナルリズム	山口育子（ささえあい医療人 権センターCOML 理事長）	医師のプロフェッショナルリ ズムを患者の立場から考える
2026 年 1 月 22 日(木)	3	フィールドワー ク発表会	岡崎史子・福井直樹 Olga Razvina（医学教育セン ター）	各自治体へ行ったフィールド ワークについて、全員が発表 する
2026 年 1 月 22 日(木)	4	フィールドワー ク発表会	岡崎史子・福井直樹 Olga Razvina（医学教育セン ター）	各自治体へ行ったフィールド ワークについて、全員が発表 する
2026 年 1 月 26 日(月)	3	災害医療とは	高橋昌（新潟大学地域医療 学・災害医学）	災害医療とは
2026 年 1 月 26 日(月)	4	医学国際交流 ～日露交流の視 点から	牛木辰男（新潟大学学長） 成澤林太郎（新潟県労働衛生 医学協会）	本学の歴史と医学国際交流を 学ぶ

2026 年 2 月 2 日(月)	3	医療と福祉の接点、多職種・地域連携 1	星田和哉・石原慎一・新美奏恵（新潟大学医歯学総合病院患者総合サポートセンター）	多職種・地域で連携して患者中心の医療・福祉を実践するとは？
2026 年 2 月 2 日(月)	4	医療と福祉の接点、多職種・地域連携 2	星田和哉・石原慎一・新美奏恵（新潟大学医歯学総合病院患者総合サポートセンター）	多職種・地域で連携して患者中心の医療・福祉を実践するとは？
2026 年 2 月 9 日(月)	3	社会における医療の役割	西澤正豊（新潟医療福祉大学学長・新潟大学名誉教授）	新潟水俣病の 50 年
2026 年 2 月 9 日(月)	4	医療と法律	橘真理夫（第一東京弁護士会）	医療と法律

3 限 13:30－15:00・4 限 15:20－16:50（通常の授業時限より+30 分遅いので注意すること）

※日程・題目・講師は変更する場合がある。

＜学務情報システム＞

- ・各回のレポートは原則として講義日 17:00 に配信される。回答締め切りは翌週月曜日 9:00 の予定である。
- ・最終の期末プロダクトの回答締め切りは 2025 年 12 月 22 日(月)23:59 である。最終プロダクトは 12 月 22 日の本授業で発表したものを提出する。詳細は授業中に説明する。

＜授業時間外学修＞＜使用テキスト＞

2025 年 12 月 15 日、22 日「患者さんに病気を説明する」の授業では、前期の必修科目「はじめての医学」で用いた木南凌著「はじめての医学」（メディカル・サイエンス・インターナショナル）を使用する。

それ以外は講義に参加して学んだ内容を重視し、指定教科書は特に設けない。

授業時間外の学習・授業の予習・復習を行う。事後レポートの作成にあたっては授業の内容を十分に理解して臨むこと。授業中および授業外でグループ学習を実施する場合がある。

＜成績評価の方法と基準＞

- ・毎回出席・レポート提出を原則とする。3 分の 2 以上の出席がない場合は単位を認定しない。
- ・やむを得ず遅刻・欠席する場合は事前に欠席事由を科目責任者に届け出ること。診断書等がある場合は、補講の実施が可能となる。
- ・無断の遅刻、欠席、レポートの遅延があった場合は教員から連絡し、フィードバックを行う。教員からの連絡に応じない場合は単位を認定しない。
- ・成績の判定は各回のレポート課題 60%、期末プロダクト 40%とし、単位認定の評価については、医学教育センターでとりまとめ、評価する。
- ・各回のレポートの評価は、①期限内の提出、②授業内容が十分に反映されていることを基準とする。

＜主要な知識内容のキーワード＞

★医療倫理学、医療法学、社会医学、多職種連携、地域医療、総合診療、キャリアプランニング、コミュニケーション、プロフェッショナリズム、医学英語